



# Weekly Report

## 小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽  
 ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階  
 TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

◆会 長 / 渡辺 文夫 ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄  
 ◆幹 事 / 依田 晋一 ◆芳 広 報 情 報 委 員 長 / 清 水 泰 男

NO. 1248 平成26年10月7日



◆点鐘	渡辺 文夫 会長
◆SAA	黒田 説成 委員
◆ソング	君が代 誕生日の歌
◆ビジター	赤羽 正康 君(松本南RC)
◆ゲスト	鄭 賢 姫 様(米山奨学生)

### ◆誕生祝

湯本敏晴会員

### ◆結婚祝

掛川興太郎会員・久江夫人

中河邦忠会員・淑子夫人

若林正忠会員・孝子夫人

### ◆皆勤祝

清水泰男会員(24回)

### 【会長挨拶】 渡辺 文夫 会長

会員の皆様こんにちは。

いよいよ秋本番です。温度変化激しく、体調にはくれぐれもご自愛ください。規則正しい生活と同時に、体力維持にお励みください。

本日は、米山奨学生、鄭賢姫(チョンヒョンヒ)さんの卓話です。御期待致します。

また木曾の御嶽山の噴火は、戦後最大規模の事故となり、連日新聞に出っていますが、活火山の登山は自己責任で、これからどうしたら良いか考えて行動するより仕方がない様です。

今日は「寝たきりにならない様に、身体活動にかかわる器官である、骨や関節、筋肉などの老化を防止するように努めよう」という新しい概念の話です。

運動器官は一般に年を取ると老化し弱くなりますが、運動不足や偏った体の使い方などによって、年齢よりも早い段階で老化が始まります。最も重要なのが

骨盤だそうです。人間の骨格のうちで、立体構造になっているのは、骨盤と胸部と顎関節の3つですが、骨盤は土台で、その上に背骨が乗っています。しかも、体を動かすときに軸となる骨格です。その為に、ゆがみやすいとのことです。腰を回して、姿勢をよくして筋骨の老化を防ぎましょう。また、ジョキングや歩行も体力に合わせて無理をせずに行なう事が肝心だそうです。

以上会長挨拶です。ありがとうございました。

### 【幹事報告】 幹事

- 宮坂宥洪直前ガバナーより直前ガバナー事務所閉鎖について  
9月末日をもち任務終了
- 中川博司ガバナーより2014~2015年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生募集要項
- 飯田RCより「第26回 RYKA」開催礼状
- 例会変更  

軽井沢RC	10月13日(月)	定刻受付なし
	10月27日(月)	定刻受付あり
	11月3日(月)	定刻受付なし
	11月10日(月)	定刻受付あり
小諸RC	10月22日(水)	定刻受付あり
	10月29日(水)	定刻受付なし

### 5. 週報

丸子、東御RC

### 【本日の配布物】

週報 1247号、ガバナー月信 4号、  
ロータリー米山記念奨学事業豆辞典

### ◆ラッキー賞

NO. 8 小池平一郎 君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員

掛川興太郎君	結婚祝のお花、有難うございます。	中河 邦忠君	結婚記念日祝の品、明日届きます。有難うございます。
神津 恭通君	米山奨学生の鄭さんを遠路ご案内頂きました、松本南RCの赤羽さん、ご苦労様です。	渡辺 文夫君	鄭賢姫さん、ご苦労様です。宜しく願い致します。
湯本 敏晴君	誕生祝、有難うございました。親睦旅行は大勢のご参加をお願いします。	小池平一郎君	職業奉仕の為、早退します。
		小林 秋生君	ご協力、有難うございました。

◆【出席報告】 掛川 興太郎 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 10月7日	21	19	事前2名	2	90.00%
前々回 9月16日	22	20	事後0名	2	90.00%

【本日のプログラム】「奨学生の生活で得たもの、留学の成果について」鄭賢姫様(米山奨学生)



皆様、こんにちは。昨年からお世話になっております。米山記念奨学生の鄭賢姫と申します。現在、信州大学・人文学部・社会学専攻の4年生です。本日は「米山記念奨学生の生活で得たもの、留学の成果について」というテーマで卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

まず、はじめに、わたしがこれまでの奨学生の生活で得たものには、大きく金銭、時間心の余裕があります。そして留学の成果としては、まだ進行中ではありますが、卒業論文についての話を簡単にさせていただきます。

米山記念奨学生の生活で得たものとして、まず、奨学金、お金が挙げられます。昨年の4月から米山記念奨学金を受給することになりましたが、それまではアルバイトばかりの毎日でした。週4回はラーメン屋で夜一時までに働き、週2回韓国語を教えるアルバイトとボランティアをやっていました。米山記念奨学生になってからは、毎月の奨学金で生活費を使い、韓国語のレッスンで大学の授業料を払っています。

そして今年の前半、日本での就職活動をしながらか感じたことですが、お金がないと日本での就職活動は無理だと思いました。日本は交通費がとても高いです。東京までの往復の交通費、そして場合によっては宿泊費も必要だったので、本当にたくさんのお金が必要でした。もう5月までで就職活動は辞めましたが、日本での就職活動は大変貴重な経験になりました。

次に得たものとして、時間が挙げられます。まずアルバイトの時間が減ったので、その分、勉強の時間が増えました。奨学生になる前は、アルバイトの時間に自分のスケジュールを合わせるしかいなかったので、受講したい授業があっても受けられないこともありました。そして授業だけではなく、卒業論文に集中できる時間も増えました。4年生になってからは、平日のほとんどの時間を大学の図書館で送っています。

また一日3、4時間しか眠れない生活から、8時間ちゃんと睡眠がとれる生活に変わりました。睡眠不足だと授業に入ってもぼーっとすることもたまにありましたが、睡眠が十分とれるようになり、授業への集中力も良くなったのです。

奨学生の生活で得たものとして、最後に心の余裕が挙げられます。わたしは大学の先生の紹介で2012年10月から松本中央公民館の多文化共生プラザで韓国語を教えるボランティアをやっています。米山記念奨学生になる前は、勉強とアルバイトを両立させるだけで精一杯だったので、正直に常にボランティア活動を楽しむ気持ちではありませんでした。

しかし奨学生になってからは物質的にも時間的にも余裕ができたので、授業の準備もしっかりできるようになり、教えるだけでなく、様々な活動を工夫して、受講生の方々と一緒に韓国料理を作ったり、映画を見たりする機会も増えました。

また留学生活を楽しむようになりました。アルバイトに追われていたときはあまりにも忙しかったので、留学生活を楽しむことができませんでした。更に不規則な生活とストレスが原因となり、逆流性食道炎という病気にかかってしまいました。吐き気がひどかったため、食べることができなく、もちろんゼミや留学生会の飲み会にも参加できませんでした。2012年ゼミの現地調査のために大町市で合宿をしたことがあります。そのときも吐き気がひどかったので結局わたしだけ2泊して先に松本に帰った覚えがあります。しかし体調が悪くても留学生活を続けるためにはアルバイトを辞めることはできなかったので、肉体的にも精神的にもどんどん疲れていったのです。

2013年2月に米山記念奨学生の合格発表がありました。その前に「もし合格できなかった場合は、休学することも考えてみて」と母に言われました。もしわたしが選ばれなかったら、今まで留学生活を続けることはできなかったと思います。それから米山奨学生になってからは、安定した生活を送れるようになりました。病気が治ったので食べられるようになり、また大学の研究室にいる時間が増えたので、ゼミの仲間や友達と交流する機会が増えました。そしてライラや地区大会などで、他の米山奨学生の友達と交流することもとても楽しいです。奨学生同士は留学生活や進路などにおける共通点がとても多いので、話がよく通じます。そして皆とても真面目で前向きなので、そのような彼らに会うたびに「わたしももっとしっかりしなきゃ」と良い刺激を受けています。米山記念奨学生になってこのような経験ができることにとても感謝しています。

次に、留学の成果についてですが、わたしは「韓国における学校外教育と教育格差」というテーマで卒業論文を進めています。最初は「学校外教育と教育格差の日韓の比較」をしようと考えていたのですが、指導教員の先生に「国際比較はややこしいからやめろ」と反対されたので、結局韓国だけに絞って卒論を進めています。韓国の事情について説明しますと、韓国は教育熱がとても高く、教育格差が大きい社会で、世帯収入の大きな割合を学校外教育費が占めることがとても問題になっています。これに対して韓国政府は、今のようなインターネット時代においてはインターネット講座などのeラーニングを活用することで、学校外教育費の縮小、また教育格差の縮小ができると見えています。このような現状から、本当にeラーニングの活用が学校外教育費の縮小につながるのか、そしてどのような形の学校外教育が教育格差にどのように影響を与えるのかと疑問を持ちました。それで今年の4月から9月までは、文献調査と仮説の設定を行いました。10月から11月までは既存の韓国統計庁のデータを使って二次分析と補足調査を行い、12月には執筆に、1月には提出する予定です。結果的には「eラーニングの活用は学校外教育費の縮小、更に教育格差の縮小に寄与する」という結果が出て、だから公教育システムが類似し、インターネットの普及率が同じレベルである、日本にも適用できるのではないかと提案して結論付けて終わらせたいと考えています。

最後に、卒業後の進路についてです。今年の5月までは日本での就職を考えていましたが、最近、実家で家族の世話を見ないといけない状況になってしまったので、帰国して韓国で就職をしようと考えています。しばらくは韓国の実家にいながら就職して働きたいのですが、将来的には大学院に進学してもっと勉強したいと前からずっと思っています。そして今のわたしにできるのは韓国語を教えることくらいしかありませんが、米山記念奨学生としてロータリアンの皆様にサポートしていただいた分、自分の能力を磨いて、それをまた社会に還元できる社会人になりたいです。

これで卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

次週のプログラム : 10月14日 「卓話」 青松 英和会員  
次々週のプログラム: 10月21日 合同夜間例会・ゴルフ